

令和4年度 町政懇談会開催報告①



令和4年11月21日から12月5日までのうち6日間、各自治会や認定こども園ド・レ・ミ保護者会役員および各学校PTA役員、町女性コミュニティ会議と町政懇談会を開催しました。

『広報にいかっぶ』では、この町政懇談会で鳴海町長からのような話があったのか、どのような意見交換がなされたかをご紹介します。

今月号では、町長が各会場で説明した、町の取り組みの要旨について紹介します。

① 『第三セクター株新冠ヒルズの清算について』

平成10年に設立された株式会社新冠ヒルズは、これまで長い間、経営不振を抜け出すことができない状況下であり、近年では赤字経営の状況にありました。

町は、筆頭株主、そして設立者としての責任で第三セクターの進むべき方向性として「会社の解散」を示したことで、会社は経営の継続を断念、解散を決議し清算手続きを進め、令和4年10月6日に開かれた臨時株主総会で、清算に係る決算が承認可決したこと、第三セクター株式会社新冠ヒルズは、法人として消滅しましたことを報告します。

町の示した方向性から始まった一連のこの事業は、大きな痛みを伴いましたが、町の未来と子どもたちの将来負担を深く考えた結果であり、ご理解いただきたいと思えます。



令和4年4月1日から北海道ホテル&リゾートの運営の下リニューアルオープンした新冠温泉・ホテルヒルズ

② 『国保診療所の建替事業と町民の健康増進について』

老朽化が著しい国保診療所は、これまで幾度か建て替え計画が立ち上がっていましたが、医療スタッフ確保の難しさ、そして財政上の不安などを理由に断念してきました。

私は、問題、課題を一つ一つ整理し、解決の糸口を確かめた上で、国保診療所の建て替えに

向けた取り組みについて着手する決断をしました。

現在は、基本構想の策定を終え、基本計画の策定に着手していますが、協議に当たっては、出来る限り議会との協議を踏まえながら事業推進していきます。

町の基盤を築き、未来永劫存続させるためには、医療の整備は不可欠と考え、医療・福祉の充実を今後も続けていきます。



令和7年度に建て替えを予定している国保診療所の建設予定地 保健センター横の駐車場付近

③ 『学校教育について』

これまで、文部科学省が打ち出している「GIGA(ギガ)スクール構想」に基づき、児童生徒1人1台の学習用パソコンの整備を進め、ICT教育の推進に努めてきたほか、児童生徒

数の減少に伴う学級数の維持と授業改善対策として、町費負担教員の配置を行ってきました。

また、現在の町内における2つの小学校を令和5年度をもって統合するとして、現在、事業推進しているところです。

これら一連の取り組みは、より良い教育環境の構築を目的とするものであり、新冠の子どもたちに等しく良好な教育環境を享受してもらうためであることをご理解願います。

④ 『道の駅整備事業について』

道の駅整備事業は、これまで令和7年度の新冠IC開通に併せて整備を終えるとして進めてきており、具体的な協議は、役場内に設置した検討会議において進めてきました。

このことは、大きな事業費を伴い、また、新冠IC開通によってだけだけの観光客が当町に訪れるか見えない中で行われる協議のため、慎重に協議を進められなければならないと考えてきました。

しかし、国保診療所の建て替えや日本・千島両海溝巨大地震対策などの大型事業を計画しているため、町財政の負担も考え

道の駅整備事業の推進の歩みを遅らせることも想定しています。



道の駅 サラブレッドロード新冠

※令和4年12月13日に行われた、第4定例会議会の行政報告において、道の駅整備事業は、事業期間を同じくする国保診療所建替整備事業、並びに防災関係事業などの大型事業を同時並行して進めることは、町の財政運営上からも適切な判断ではないと考え、道の駅の運営など十分な協議を行った上で改めて整備推進することを報告しています。

⑤ 『合葬墓の整備について』

合葬墓には、少子高齢化の進行もあり、お墓の管理担い手の

減少から、町民ニーズが高いことが分かっています。

町は、設置に向け事業推進しており、現在の国からの補助金交付に向けた折衝を関係機関と行っており、町の財政負担の軽減を図りつつ事業実施するための準備を進めています。



令和5年度に整備が予定される合葬墓の建設予定地(判官館霊園内)

⑥ 『防災対策の取組について』

町は、千年に一度の大雨を想定した洪水ハザードマップを作成したことに続き、令和4年3月に津波ハザードマップを作成し、全戸配付をしました。

また、日本・千島両海溝巨大地震について、その不安と防災対策の必要性が取り上げられています。令和4年7月28日に



令和4年3月に作成された津波ハザードマップ

今月号では、町政懇談会で町長が各会場で説明した、町が取り組んでいる主な政策などについて掲載させていただきます。次号3月号では、各会場で出されました、主なご質問やご意見をご紹介していきます。